

メセナ大賞 '93

MECENAT AWARDS '93



Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会

ごあいさつ

第三回の「メセナ大賞」贈呈式を迎え、主催者を代表してご挨拶申し上げます。

まず「メセナ大賞'93」を受賞される企業・財団の皆様に心よりお祝い申し上げます。近年にない深刻な不況に直面しながら、芸術文化支援の面で例年に優るとも劣らぬ実績をあげられた並々ならぬ皆様のご尽力に深い敬意を捧げるとともに、本年も多彩かつ内容の充実した賞を世に問う機会を得ましたことを皆様とともによろこびたいと思います。

とりわけ、今年は国際性豊かな活動が多く選ばれました。メセナの国際的提携の必要が叫ばれる折から、これらの受賞に拍手を送りたいと思います。また、受賞企業・財団各位の殆どが多年にわたってメセナに尽力されてきた事実は、「継続性」がメセナ活動にとっていかに大切であるかを裏書きするものといえましょう。継続性こそ創造性とともにメセナ活動を支える二本の柱、とあらためて痛感いたしました次第です。

これまで三年にわたって真摯かつ公平なご審査を賜った審査員各位のご努力にあらためて御礼申し上げるとともに、本日師走のお忙しい中をご来席くださった皆様に心から感謝申し上げます。

今日の贈呈式がわが国のメセナ活動が不況にあらがって健在であることを広く皆様に印象づける機会になり、二十一世紀には企業メセナが日本のみならず、世界の芸術文化の振興に寄与することになるよう心からお祈りして、私のごあいさつの結びとさせていただきます。

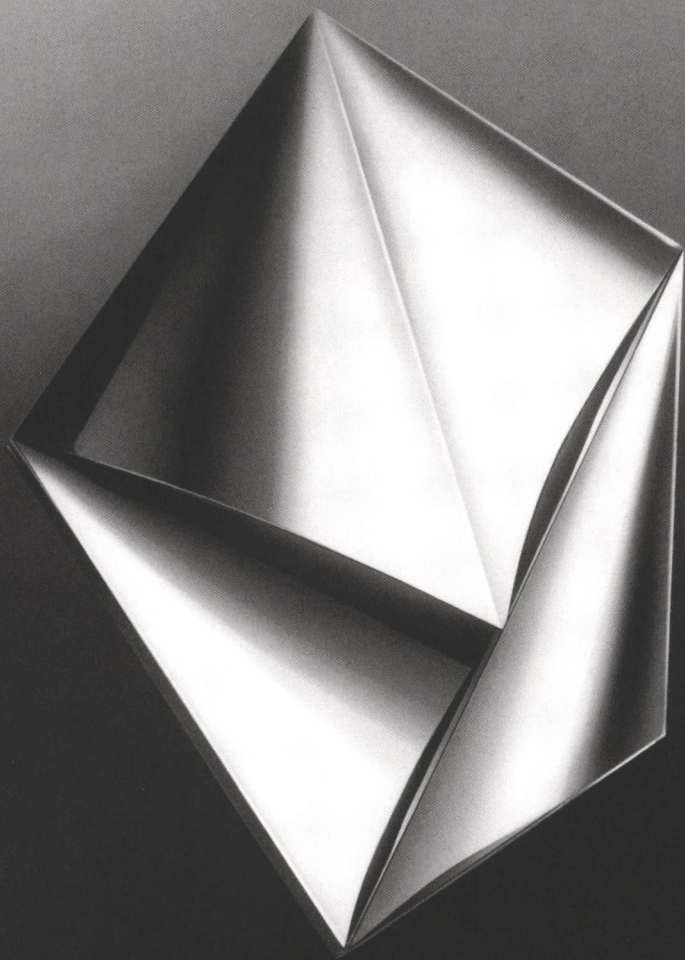
社団法人 企業メセナ協議会

会長 鈴木治雄

メセナ大賞 '93

わが国に所在する企業および企業財団によって
1992年度内(1992年4月1日～1993年3月31日)に行われた
メセナ(芸術文化支援)活動のうちで、
芸術文化振興にすぐれた貢献を行った活動に
メセナ賞がおくられ、さらにその中から、
メセナ大賞、メセナ特別賞が贈呈される。
「メセナ大賞」は、企業メセナの一層の充実とこの問題への
世論の関心を高めることを目的として、1991年に創設された。

MECENAT AWARDS '93



トロフィー制作●多田 美波/彫刻家

〔最近の主な作品〕東京芸術劇場にレリーフ「調」

東京都新都庁舎に彫刻「滞」

埼玉県上尾市新市庁舎に吊彫刻「光彩」を制作

東京都江戸東京博物館ホールに天井造形「翔彩」

〔主な受賞〕日本芸術大賞。ヘンリー・ムーア大賞。芸術選奨文部大臣賞。紫綬褒賞など。

審査委員



照明デザイナー
石井 幹子



世田谷美術館 館長
大島 清次



作曲家
三枝 成彰



(財)日本舞台芸術振興会
専務理事
佐々木 忠次



岩波ホール
総支配人
高野 悦子



都市建築家
東京大学助教授
藤森 照信



大和総研(株)
理事長
宮崎 勇



劇作家
大阪大学教授
山崎 正和



(社)企業メセナ
協議会理事長
福原 義春

選考経過

「メセナ大賞'93」は、本年4月初旬から7月7日の応募期間中、全国各地の110企業・企業財団から寄せられた145件の芸術文化支援の案件を対象として、左記の9名の審査委員の慎重かつ厳正な選考にしたがって決定された。

深刻な不況の進行に直面したためか、応募団体数、案件数は漸減(前年度、139、201)したが、内容はその多様性、充実度において前年度に遜色ないものだった。まず大賞部会が基礎調査を行ったのち、その報告にもとづいて二回の審査委員会が持たれ、多角的に入念な議論の末、9件のメセナ賞入賞が決まった。

さらに最終選考で大賞1、特別賞3が確定した。メセナの創造性、メセナの継続性を重視するこれまでの審査の基本姿勢を維持しながら、本年度の審査委員会は国際的なメセナ活動に対して一歩踏み込んだ評価を行った。在日外国企業の日本美術修復や、アジアを対象とした文化交流などが高い評価を受けたのも「メセナ国際化時代」の到来を告げるものといえよう。例年同様、継続性の評価でも議論が白熱した。最終選考でも、非営利に徹して内外の前衛美術を多年にわたって紹介し続けた美術館活動と、クラシック音楽の普及と前衛作曲家の擁護に貢献したホール活動が最後まで互角に競い合ったことを付記しておきたい。

本年度の授賞が、不況にめげず前進するわが国メセナ活動のシンボルになることを祈念してやまない。

社団法人 企業メセナ協議会

専務理事 根本 長兵衛

プログラム

メセナ大賞 '93 贈呈式

日時/1993年12月14日(火) 14:00～16:00

会場/草月会館(草月ホール)

東京都港区赤坂7-2-21

司会・進行 森田美由紀 (NHKアナウンサー)

14:00 オープニング

- 開会のあいさつ鈴木 治雄 (社企業メセナ協議会会長)
- 来賓祝辞内田 弘保 (文化庁長官)

14:10 受賞企業・企業財団表彰

- 選考経過報告富岡 隆夫 (社企業メセナ協議会大賞部会長)
- メセナ賞 発表・表彰
- メセナ特別賞 発表・表彰
- メセナ大賞 発表・表彰

15:00 審査委員によるディスカッション

■テーマ：「メセナの明日」

石井 幹子	大島 清次	三枝 成彰
佐々木忠次	高野 悦子	藤森 照信
宮崎 勇	山崎 正和	福原 義春

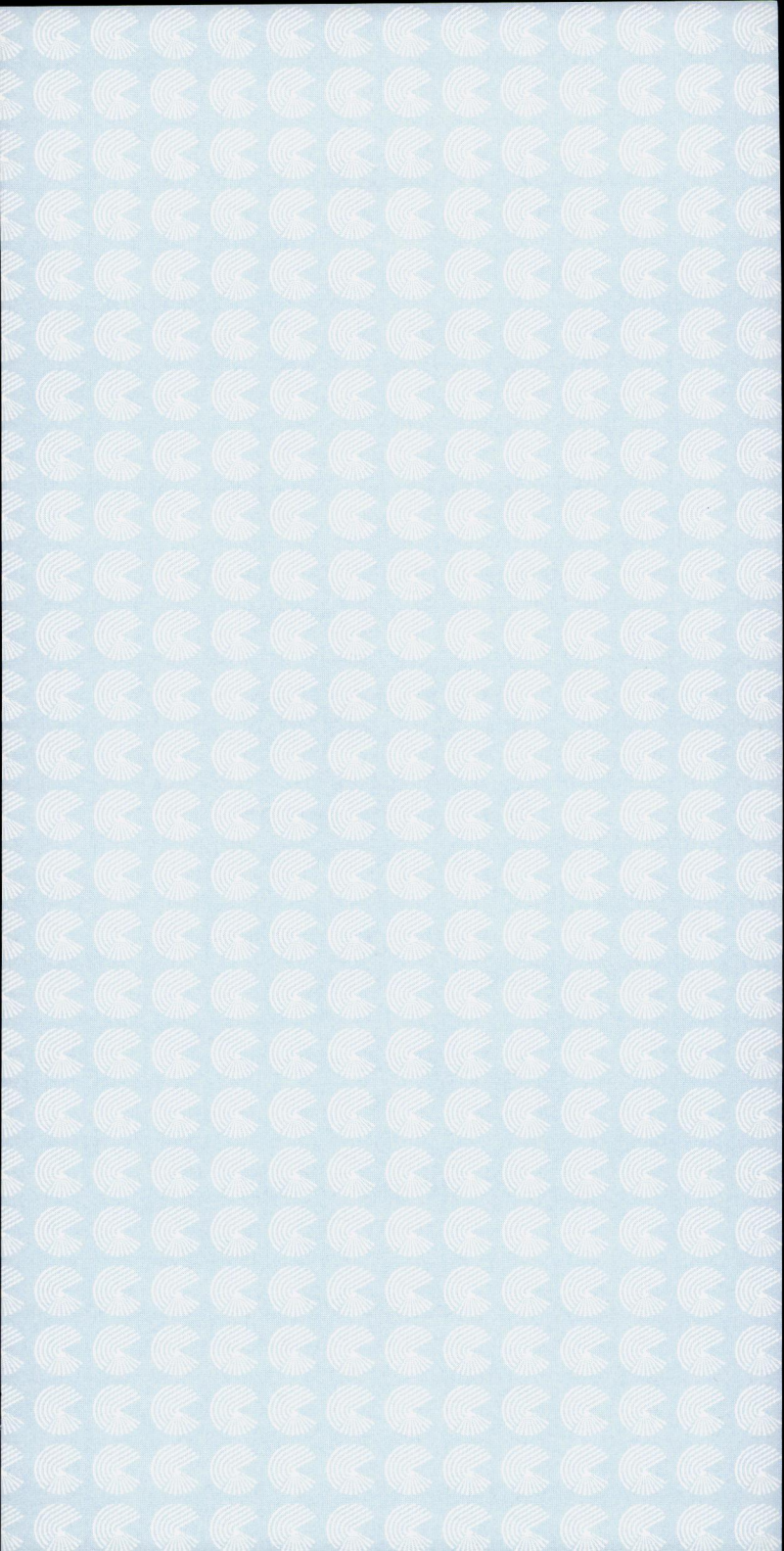
(敬称略 五十音順)

司会根本長兵衛 (社企業メセナ協議会専務理事)

16:00 エンディング

- 閉会のあいさつ福原 義春 (社企業メセナ協議会理事長)

- 閉会后、草月会館2階にて、記念レセプションを開催いたします。



メセナ賞入賞企業・企業財団

(五十音順)

大阪ガスグループ

〒541 大阪府中央区平野町4-1-2 (大阪ガス株式会社)

セゾングループ

〒170 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 44階 (株式会社西友)

財団法人 東芝国際交流財団

〒105-01 東京都港区芝浦1-1-1 東芝ビルディング 3C-4

財団法人 トヨタ財団

〒163-04 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル37階

日本生命保険 相互会社

〒100 東京都千代田区有楽町1-2-2

フィリップ モリス 株式会社

〒107 東京都港区赤坂2-17-22 赤坂ツインタワー 本館14階

松下電器産業 株式会社

〒571 大阪府門真市大字門真1006

株式会社 南日本放送

〒890 鹿児島市高麗町5-25

財団法人 ロームミュージックファンデーション

〒604 京都市中央区蛸薬師通烏丸西入橋辨慶町222番地 平井ビル

大阪ガスグループ

THE OSAKA GAS GROUP

扇町ミュージアムスクエアの運営

■関西の若者文化発信基地として

扇町ミュージアムスクエア(略称OMS)は、1985年、大阪ガス(株)北支社移転後の未活用建物をリニューアルして誕生。ガス器具倉庫を改造した小劇場「フォーラム」をはじめ、洋画邦画を問わず粒選りの名画を上映するミニシアター、ライブも楽しめるカフェ・レストランなどを備えたOMSは、関西の若者文化発信基地として大きな役割を果たしている。特に「フォーラム」は大阪の小劇場の草分け的存在であり、1992年度の公演数は府下最多の60を超え、今や関西小劇場界のメッカと言われている。ただスペースを貸すだけでなく、自主興行も手がけ、また演劇のレイトショー「扇町夜遊びシアター」等の企画も行っている。また、関西の若手を代表する「劇団新感線」「南河内万歳一座」両劇団には、設立当初から建物内の一室を稽古場として安価で提供。両劇団のメジャー化にも貢献した。1992年度からは劇団支援のための新企画「扇町アクトトライアル」を開始。劇団制作担当者のマネジメント能力の強化を図るため、制作講座を開催するほか、制作実務の直接指導などを行っている。

■扇町地区の活性化を推進

大阪ガスグループでは、北支社移転後の遊休建物の有効活用を検討した際、所在する扇町地区が、大阪駅や梅田駅が集中する繁華街から離れているため、強力な集客力を持った施設を検討。さらに、関西圏の演劇・映画界の脆弱な状況も憂慮した結果、複合文化施設へと改装するに至った。設立以後、新生文化の発信基地としての役割を果たすとともに、周辺の商店街も若者対応の店づくりを進めるなど、扇町地区の活性化にも大きく貢献した。OMSは来年、設立10周年を迎える。

セゾングループ

THE SAISON GROUP

セゾン美術館の運営

■国際的に開かれた現代美術館

セゾン美術館は1975年、西武百貨店池袋店の12階に「西武美術館」として開設された。コレクションは持たないが、従来の新聞社主導型の展覧会とは一線を画す、独自の企画展を開催。とりわけ、現代美術界において同美術館が果たしてきた功績は大きく、現代美術の展覧会が美術館で開催される機会が乏しかった70～80年代において、同美術館ではJ・ジョーンズやJ・シーガルらの現代美術作品を他に先駆けて紹介するなど、「国際的に開かれた現代美術館として傑出した存在だった」と高い評価を受けている。1989年にはSMA館の1、2階部分に移転し、名称も「セゾン美術館」に変更した。1991年より㈱西友が運営している。活動の基本コンセプトは①人類の遺産、②現代の美術、③生活の中のデザイン。昨年は「現代美術の新たな広がり」と「人間交流のすがた」をテーマに、『ヘンリー・ムーア展』、『シェーカー展』、『長安の秘法展』などを開催。今年も『キーフアー展』などで注目を集め、明日に向けての「豊かで質の高い生活時空間の創造」を提案し続けている。

■同時代の芸術活動を支えて

「将来、普遍的な評価を受けるであろう芸術作品は、現在我々の身の回りにいる柔軟な精神と創造力をもつ芸術家によって創作されているものであり、彼らの活動を支えていくことは同時代に生きる者の務めである」との認識のもと、セゾングループでは現代芸術の支援に取り組んでいる。美術分野ではセゾン美術館やセゾン現代美術館、演劇及び舞踊では、銀座セゾン劇場やパルコ劇場、音楽では八ヶ岳高原音楽堂など、幅広く現代芸術を支えるとともに、創造活動の一端を担っている。

財団法人 東芝国際交流財団

TOSHIBA INTERNATIONAL FOUNDATION

国内および海外の美術館、博物館への助成

■異国文化の相互理解を促進するために

わが国の国際的地位の向上に応じた世界への貢献の重要性を認識して、(株)東芝の創立50周年である1989年に東芝国際交流財団は設立された。国際交流・対日理解の促進、および国際社会での貢献を目的に、助成事業を行っており、芸術文化関連の助成は活動全体の半数を数えている。助成事業の中でも国際文化理解のために貴重と思われるのが、東京国立博物館を初めとする国内の美術館、博物館に対する外国語のパンフレットなどの寄贈、およびブルーブル美術館の日本語版の展示品解説パネルの寄贈による助成だ。両者は対照的な性格の事業だが、どちらも美術館などでは置き去りにされていたサービスであり、利用者からは異国文化を理解するための手がかりとして好評を博しているという。助成目的を明確にするために、財団スタッフが責任を持ってパンフレットなどを製作し、申請者に現物を収めるという助成方法を採用しているのもユニークだ。このほかにも去年はメトロポリタン美術館とボストン美術館の活動案内資料の発行や「葛飾北斎展」開催など芸術文化関連では11件に対する助成を行った。

■国際理解につながる地道な支援を

同財団では著名な団体を助成先とする傾向があるが、助成目的を重視しているため、それらも地味ながら国際理解につながる支援であることが特徴。「たとえ世界的に著名な美術館でも経済的理由から実行に移せない事業を抱えている」と考え、助成申請にあたって公募制は取らず、財団自らが助成先を探し出す方式を採用。財団スタッフの国内外を通じた現地調査により、各地のニーズを考慮した助成が行われている。

財団法人トヨタ財団

THE TOYOTA FOUNDATION

「隣人をよく知ろう」プログラムの実施

■翻訳はアジアの人々の文化や考え方を身近に知る鍵

同プログラムは文学作品などの翻訳紹介を通じて、日本とアジア諸国の相互理解を促進することを目的として、1978年から始まった。「隣人をよく知ろうプログラム・日本向け」と「隣人をよく知ろうプログラム・アジア相互間」とがある。

「日本向け」の方は、従来なかなか紹介されることのなかった東南アジアや南アジア諸国の現地語で書かれた文学作品などを、翻訳者および出版社に助成金を提供することによって日本に紹介する活動で、これまで134冊の本が翻訳出版されている。一方「アジア相互間」の方は、日本の文学作品などをアジア諸国の翻訳者、出版社が現地で言う翻訳出版事業への支援活動であり、アジアの国相互に翻訳し合う出版事業も含まれている。こちらの方は、1993年現在で、219冊の日本文学作品などが紹介されている。

「アジアと日本が、より良い人間関係を築くために何をしたら良いか」とアジア各国の知識人にヒヤリングした結果生まれた事業で、常に現地のアドバイザーなどの意見を取り入れながら、翻訳や出版の手伝い等を行い、徐々に対象の国や作品を拡げてきた。

■翻訳者や出版社の育成面での効果

同財団は翻訳書を出版するだけでなく、翻訳書に関しての解説目録やニュースレターを日本全国の図書館等にするなど、広くアジアに関心を持ってもらえるように、広報普及活動も行っている。また、その英文版も用意し、これらの活動を現地をはじめ、広く海外に知らせる努力もしている。

この「日本向け」「アジア相互間」プログラムを通し、日本のみならず、対象国でも翻訳者が育ち、出版社の数も伸びてきている。

日本生命保険 相互会社

NIPPON LIFE INSURANCE COMPANY

ニッセイ名作劇場の協賛および日生劇場の運営

■舞台芸術の普及を続けて30年

日本生命が、日比谷ビルの中に日生劇場を開場したのは1963年。その翌年から始められた、こどものためのミュージカル・プレイ「ニッセイ名作劇場」(主催:ニッセイ文化振興財団、協賛:日本生命、制作・出演:劇団四季)は、今年で30年を迎えた。当公演は、小学校6年生を、課外授業の一環として学校単位で無料招待するもので、東京(日生劇場)をはじめ全国10都市で開催され、これまでに2620回の公演を重ね、約408万人の児童を招待している。また、1981年より、毎年夏休みに全国約60都市で開催している「ニッセイ名作劇場(ファミリー公演)」も1052公演、163万人の親子を招待しており、「ニッセイ名作劇場」が舞台芸術の普及に努めた功績の大きさが理解できよう。日生劇場では、このほか中高生向けの「日生劇場オペラ教室」、「ニッセイ・オペラ・シリーズ」などオペラ振興にも力を入れる一方、開場30周年を機に「日生劇場国際児童フェスティバル」を開催するなど、舞台芸術文化の発展に貢献し続けている。

■メセナ活動のパイオニア

「次代を担う子どもたちに生の舞台の感動を味わってもらいたい」「いい劇場で一流の舞台を上演し、人々の心に潤いと憩いを与え、文化の発展に一灯をともしたい」という弘世名誉会長(当時社長)の思いを実現したのが日生劇場。日本生命は、生命保険事業そのものが相互扶助の精神に基づく公共的性格をもつこともあり、国民の生活の豊かさや潤いの向上に資する文化活動を古くから重視している。日生劇場の開場当時、企業の文化活動がまだ少なかったなかで、この活動を開始・継続したことは、同社が先駆的にメセナ活動に取り組んだことの証左といえる。

フィリップ モリス 株式会社

PHILIP MORRIS K.K.

日本美術修復計画への支援

■欧米に流出した日本美術品を修復

明治以降、欧米に流出した浮世絵や屏風、彫刻などの日本美術品の中には、長い年月の間に汚れや染みがついたり、退色してしまったものが少なくない。しかし、修復するためには日本の伝統に基づいた独自の技術が必要であり、現地でを行うことは難しい。(財)芸術研究振興財団(平山郁夫理事長)が中心となって進めている「日本美術修復計画」は、それらを日本にいったん「里帰り」させ、修復したのち返還しようというもの。1991年より本格的に開始された同計画で、現在までに米国スミソニアン・フリーア美術館所蔵の日本絵画13点の修復作業が完了している。フィリップモリス(株)は同計画の主旨に賛同。大口の資金援助を行うほか、同計画への関心を高めるため、「国際文化交流シンポジウム」を2度にわたって開催した。さらに、1992年には「カレンダー基金活動」を実施。一般に対し、同計画への寄付金を募り(一口2000円)、寄付者には修復を終えた日本絵画の記念カレンダーを進呈。その結果、1560万円以上にものぼる寄付金が寄せられ、芸術研究振興財団に贈られた。

■日本と世界各地の架け橋に

フィリップモリス社には、35年以上にわたり世界各地でメセナ活動を行ってきた長い伝統がある。その伝統は「企業のビジネスの拡大に伴い、その社会的・文化的責任も重くなる。また真の国際的企業として、利益を社会に還元し、地域社会とその文化に貢献する必要がある」との考えに基づいている。日本美術修復計画への支援活動もこの伝統に沿ったものである。同計画では今後も世界各地にある日本美術を修復していく予定であり、同社も支援を継続していく方針である。

松下電器産業 株式会社

MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD.

グローブ座への支援

■経営資源を駆使して、演劇文化の振興を図る

同社は1990年11月より、シェイクスピア専門劇場「グローブ座」の「良質の演劇を現地並みの価格で提供する」というポリシーに共鳴し支援を開始した。専任者を設置し、安定的かつ継続的な資金援助に加え、「同時通訳システム」機器の無償提供、音楽公演における音場制御システムの技術協力、従業員とその家族の観劇促進、社員ボランティアによる大阪公演の運営など、単に資金的な支援に留まらず、きめ細かく幅広い支援を実践している。

同社の支援により多くの人々が海外の質の高い劇団の公演を低廉なチケット代で、全作品・全公演が同時通訳付きで鑑賞できるようになり、演劇ファンに歓迎されている。また、グローブ座では「日本の伝統芸能によるシェイクスピア」というテーマで歌舞伎・狂言・音楽によるオリジナル公演を行ったが、これらの作品は同社の支援によって英国のジャパンフェスティバルにも参加した。このように、演劇文化の向上と普及に貢献しているだけでなく、演劇を通じての国際文化交流に果している役割も大きい。

■メセナ活動を通じ世界文化の進展に寄与する

同社はメセナ活動を行うための重点分野と、支援の目的・基準を明確にしている。具体的には、演劇、音楽、美術の3分野の、①若い芸術家の育成支援に資するもの②芸術家の創作活動に寄与するもの③優れた芸術作品の鑑賞に役立つもの④国際交流・国際貢献に著しく役立つもの、を対象としており、同社の経営理念「世界文化の進展に寄与する」ことを目指している。この理念に基づき世界各国で行なっている活発なメセナ活動は、現地で高く評価されている。

株式会社 南日本放送

MINAMINIHON BROADCASTING CO.,LTD.

MBCユースオーケストラの運営

■青少年にオーケストラ演奏の喜びを

1964年、開局10周年記念として、地元鹿児島県の文化への貢献を目的として創設され、民間企業の支援による青少年オーケストラとしては日本で最も長い歴史を持ち、演奏レベルも高い。常時80人程の団員(小学生から大学生まで)が在籍し、約10名の指導者のもと、週1回の練習に励んでおり、その成果は、年1回の定期演奏会、県内の地方公演、クリスマスコンサートを3本柱として発表し、多くの県民に親しまれている。

1976年にはアメリカ建国200年記念として1カ月にわたるアメリカ各地への演奏旅行、1991年には韓国全州市での演奏会を行うなど、国際親善にも寄与してきた。

これまで1200人を越える青少年が巣立ち、世界的に活躍するプロの音楽家も生まれている。また、地元のアマチュアオーケストラ「鹿児島交響楽団」のメンバーの多くは同オーケストラの出身である。

同社は運営、経費、練習場の提供などすべてに責任を持って当たっている。鹿児島という地で、30年間活発な活動を継続出来たのは同社の熱心な支援があったからこそといえる。

■地域文化、音楽文化の向上・発展に貢献

同社の「マスコミとして地域の発展に貢献する」という企業理念に沿うメセナ活動の一つとして、地域青少年に音楽演奏の喜びを与え、音楽文化の普及を図る目的で始められた事業であるが、これまで外国のピアニストや中央から指揮者を招いての演奏会や地域の合唱団とのジョイントコンサートを開くなど、県民に生の演奏機会を提供し続け、地域の音楽文化の向上に大いに貢献している。

(財)ロームミュージックファンデーション

ROHM MUSIC FOUNDATION

音楽文化振興活動

■音楽文化の発展に有用な人材を育成

同財団は1991年、京都に本社をおく電子部品メーカーのローム(株)と同社社長佐藤研一郎氏が中心となって設立。「音楽活動に対する助成を図るとともに、音楽を専攻する学生に対する奨学援助等を行い、もって我が国の文化の向上、発展に寄与すること」を目的に、次の活動を行っている。「①音楽活動に対する助成②国際交流に対する助成③音楽文化に関する調査研究に対する助成④音楽を専攻する学生に対する奨学金の給付⑤音楽に関する資料等の収集及び実態調査の実施⑥その他この法人の目的を達成するために必要な事業(『夏のスイス音楽セミナー』の開催、音楽家の在外研究奨励費の給付等)」。特に、④、⑥に表れているように、音楽文化の発展に有用な人材の育成を図る事業を積極的に行っている。1992年に開始した「夏のスイス音楽セミナー」も、夏の約2週間、選抜された音大生等たちに、レッスンに最適な環境を与え、世界的に著名な音楽家が直接、演奏技術の指導等を行うというもので、同財団の人材育成事業の好例である。

■若い音楽家へ夢を託して

同財団には、ローム(株)の創業者でもある佐藤氏が私財を拠出して設立したという側面もある。氏は若かりし頃、ピアニストを目指したが、限界を感じ、その夢を断念した経験がある。その後、氏は実業家としての道を歩み、ローム(株)も一部上場企業となった。同財団の特徴である人材育成事業には、「かつての夢を若い音楽家たちに託したい」という氏の思いが反映されている。

メセナ大賞 '93 応募企業一覧

(五十音順)

- **株アートネイチャー**(東京都)
「加藤楸邨記念館」の設立
- **株アクティブKEI**(京都府)
「悠々フェスタ」の開催
- **株あさば旅館涵翠閣**(静岡県)
「修善寺芸術紀行」の開催
- **株朝日新聞社**(東京都)
「浜離宮朝日ホール」の建設・運営ほか
- **朝日生命保険**(相)(東京都)
「新都心プロムナードギャラリー」の運営ほか
- **朝日放送株**(大阪府)
「ABCギャラリー」の運営
- **株足利銀行**(群馬県)
「栃木県民オペラ」の後援
- **(財)アフィニス文化財団**(東京都)
オーケストラ主催の演奏会等への助成ほか
- **株アルテカ**(東京都)
芸術文化活動に対する物的援助
- **株イムズ**(福岡県)
「イムズ芸術祭」の開催
- **株伊予銀行**(愛媛県)
「伊予銀行地域文化活動助成制度」の実施
- **株上田商会**(東京都)
「GUEST ROOM」の参観者への開放
- **株内田洋行**(東京都)
「UCHIDA Inner Gallery VELOX」の運営
- **新王子製紙株**(東京都)
「王子ホール」の建設とレジデント・オーケストラの創設

■大倉山記念館水曜コンサート実行委員会(神奈川県)
「水曜コンサート」の開催

■大阪ガスグループ(大阪府)
「扇町ミュージアムスクエア」の運営ほか

■株小布施堂(長野県)
コンサートシリーズ「韻小布施堂」の開催

■カトーレック株(香川県)
四国の古い民家の移築と生活用具の収拾・展示

■兼松株(東京都)
「ギャラリー17」の運営

■川崎信用金庫(神奈川県)
「川崎ジュニア文学賞コンクール」の実施

■株紀伊国屋書店(東京都)
「化粧」東南アジア後援の開催

■協和発酵工業株(東京都)
「朝日ヤングセッション講演会および講演録出版」

■キリンビール株(東京都)
「キリンプラザ大阪」の運営

■近畿コカ・コーラボトリング株(大阪府)
フィルムライブラリー活動

■(財)熊本放送文化振興財団(熊本県)
「助成および寄付事業」

■株佐賀銀行(佐賀県)
「佐賀銀行文化財団新人賞」の贈呈

■サントリー株(大阪府)
「サントリーホール」の運営ほか

■(財)サントリー音楽財団(大阪府)
音楽文化振興活動

■(財)サントリー文化財団(大阪府)
「サントリー地域文化賞」贈呈などの地域文化支援活動

■株三陽商会(東京都)
「サンヨーホールコンサート」の開催

- **株資生堂**(東京都)
「資生堂ギャラリー」の運営
- **主婦の友グループ**(東京都)
「カザルスホール」の設立・運営
- **株しゅんこう**(兵庫県)
「和紙ちぎり絵」の芸術文化活動
- **有松榮堂**(京都府)
香る文化の啓蒙と伝統としての継承
- **新日本製鐵株**(東京都)
音楽文化振興の諸活動
- **株鈴丹**(愛知県)
「ドリルチーム世界大会」の協賛
- **株住友銀行**(東京都)
「住友銀行スプリングコンサート」の開催
- **住友商事株**(東京都)
「住友商事ヤング・シンフォニー」の開催ほか
- **住友生命保険**(相)
「住友生命全国縦断チャリティーコンサート」の開催
- **セイコー電子工業株**(東京都)
「エスアイアイ・コンサート」の開催ほか
- **株西洋環境開発**(東京都)
「MUSIC TODAY BIENNIAL」の出版
- **セゾングループ**(東京都)
「セゾン美術館」の運営ほか
- **(財)セゾン文化財団**(東京都)
現代演劇・舞踊助成事業
- **株せとうち銀行**(広島県)
「くらしの文集」作品募集・発行
- **(財)ソニー音楽芸術振興会**(東京都)
「全日本大学オーケストラ大会」の主催
- **大成建設株**(東京都)
「日本フィル特別演奏会」の協賛ほか

- 株高島屋(大阪府)
「公益信託 タカシマヤ文化基金」の美術振興事業
- 株竹尾(東京都)
「ANOTHER WORLD」展への協力
- 株竹中工務店(大阪府)
「TAKENAKA ART FORUM '93」の開催
- 第一生命保険(相)(東京都)
東京ゾリステンコンサート「親子のための室内楽コンサート」の協賛
- 株第四銀行(新潟県)
「だいしライフアップコンサート」の企画・運営
- (財)大和証券ヘルス財団(東京都)
中高年者の保険医療・福祉に関する調査研究に対する助成
- チャコット株(東京都)
(社)現代舞踊協会への助成
- 株中国放送(広島県)
「ヒロシマ国際アマチュア映画祭」の支援
- TOA株(兵庫県)
「ジーベック」を中心とした音文化啓蒙活動
- 株TYK(愛知県)
芸術文化活動に対する資金、人的、物的、場所援助
- 株電通(東京都)
「電通ギャラリー」の運営
- (学)桐蔭学園(神奈川県)
「桐蔭メモリアルホール」における芸術発表・鑑賞活動
- 東急広報委員会(東京都)
「東急フォーラム」の開催
- 東京 Opiniオンズ(東京都)
「東京 Opiniオンズフェスティバル」の開催
- 東京ガス株(東京都)
「小・中学生陶芸コンクール」の実施
- (財)東芝国際交流財団(東京都)
国内外の美術館、博物館などへの助成

- **東陶機器株**(福岡県)
「ギャラリー間」の活動
- **株東武百貨店・東武グループ**(東京都)
（財）新星日本交響楽団の公演協賛ほか
- **凸版印刷株**(東京都)
「ジュディ・データー写真展」の協賛ほか
- **(財)トヨタ財団**(東京都)
「隣人をよく知ろう」プログラムの実施
- **トヨタ自動車株**(愛知県)
「ジャパン・ヤング・アーティスト・チェンバーミュージック・ソサエティ」の支援
- **(財)道銀文化財団**(北海道)
道内の文化振興活動
- **(財)日航財団**(東京都)
「キュレーターズ・セミナー '92」の協賛
- **日産自動車株**(東京都)
「ニッサン童話と絵本のグランプリ」の協賛
- **日産労連リック事業部**(東京都)
「日産労連チャリティー公演」の開催
- **日本アイ・ビー・エム株**(東京都)
「日本IBMバレーエ奨学金」ほか
- **株日本経済新聞社**(東京都)
「ルーブル美術館200年展」の開催
- **日本信販株**(東京都)
「NICOS(ニコス)ギャラリー」の運営
- **日本生命保険(相)**(東京都)
「ニッセイ名作劇場」の協賛と「日生劇場」の運営
- **日本たばこ産業株**(東京都)
「JTクロスカルチャー大賞」
- **日本電気株**(東京都)
グローバルな視点によるクラシック音楽支援
- **日本電信電話株**(東京都)
「中国地方でんぼう・でんわ児童画コンクール」ほか

- **日本ビクター株**(東京都)
「東京ビデオフェスティバル」の開催
- **株ニューアート西武**(東京都)
「イヤー・フォーラム」の開催
- **林原グループ**(岡山県)
音楽家へのバイオリン終身貸与ほか
- **ハレルヤ製菓株**(香川県)
「阿波の里アートフォーラム」の運営
- **株パーソンズ**(東京都)
「PERSON'S WEEKEND MUSEUM」の運営
- **株パルコ**(東京都)
「URBANART」の開催
- **広島信用金庫**(広島県)
「ひろしま平和能楽祭」の開催ほか
- **(財)美術工芸振興佐藤基金**(神奈川県)
海外留学生への奨学金・宿舍提供ほか
- **株ファミリーマート**(東京都)
「ロシア・バレエ・インスティテュート」の運営
- **フィリップモリス株**(東京都)
「日本美術修復計画」の支援
- **株フォーバル**(東京都)
「フォーバル・スカラシップ」の実施
- **株福武書店**(岡山県)
「Beness House・直島コンテンポラリーアートミュージアム」の設立・運営
- **富士通株**(東京都)
「つくばコンサート」の協賛
- **株ポッカコーポレーション**(愛知県)
「'93 ニューイヤーコンサート」の支援
- **真柄建設株/(財)真柄教育振興財団**(石川県)
「真柄文庫」の設置ほか
- **松下電器産業株**(大阪府)
「グローブ座」への支援ほか

- **ミサワホーム株**(東京都)
環境音楽のCDシリーズの制作
- **三井広報委員会**(東京都)
「Close-up of Japan」の開催
- **(財)三菱信託芸術文化財団**(東京都)
音楽芸術への助成活動
- **三菱自動車工業株**(東京都)
「山海塾」海外公演への10年間の支援活動
- **株南日本放送**(鹿児島県)
「MBCユースオーケストラ」の活動
- **未来工業株**(岐阜県)
「ミライコミュニティシアター」の開催
- **株メモリアルアートの大野屋**(東京都)
「メモリアルクラシックコンサート」の開催
- **メルセデス・ベンツ日本株**(東京都)
「ガスコーニュ・アートスカラーシップ」の実施
- **森ビル流通システム株**(東京都)
「原宿文楽『碇知盛』」の開催
- **株ヤギコーポレーション**(石川県)
「ヤギスクールシアター」の開催
- **安田火災海上保険株**(東京都)
「素敵!! 名画の旅」展の協賛ほか
- **(財)安田火災美術財団**(東京都)
「安田火災美術財団奨励賞」の授与及び「奨励賞展」の開催ほか
- **株矢野本店**(群馬県)
桐生市への「有鄰館」永久貸与
- **ヤマト運輸株**(東京都)
親子対象の無料コンサート「音楽宅急便」の開催
- **株ライカ**(大阪府)
「明日の芸術」シリーズによる現代美術展の開催ほか
- **(財)ロームミュージックファンデーション**(京都府)
音楽文化振興活動

「メセナ大賞」(これまでの受賞団体)

(五十音順)

1991年

メセナ大賞

林原グループ

国際芸術・文化振興奨学金制度
の創設ほか

メセナ特別賞

株式会社 INAX

建築、現代美術等の
展覧会開催、出版ほか

コニカ 株式会社

大英博物館日本ギャラリーの
設立資金援助ほか

新日本製鐵 株式会社

新日鉄音楽賞の創設ほか

メセナ賞

岩谷産業 株式会社

ふるさと交響楽シリーズほか
N響への協賛

オムロン 株式会社

クレアティヴィタリアの特別協賛
ほか

セイコーエプソン 株式会社

サイトウ・キネン・オーケストラの
欧州公演協賛

トヨタ自動車 株式会社

アマチュアオーケストラの支援活動

モービル石油 株式会社

モービル・ライブ・サウンズの提供

1992年

メセナ大賞

株式会社 すかいらーく

(助東京交響楽団の演奏活動支援)

メセナ特別賞

財団法人 末永文化振興財団

末永文化センターの運営

びあ株式会社

PFF '91(びあフィルムフェスティバル)
の開催

財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

わが国の伝統文化の保存、伝承、
普及、振興に関するメセナ活動

メセナ賞

株式会社 紀伊國屋書店

紀伊國屋ホールの運営

シヤチハタグループ

ジャパン・アート・スカラシップ
の協賛

セゾングループ

MUSIC TODAY '91の開催

日本アイ・ビー・エム株式会社

IBMウェルフェア・コンサート
の開催

株式会社 紅三

ベニサン・スタジオ、
ベニサン・ピットの運営

(社)企業メセナ協議会会員リスト

(1993年11月1日現在)

正会員

株I&S	清水建設株	株ダイヤモンド社
株朝日広告社	シヤチハタ工業株	(有)大和工務店
株朝日新聞社	株集英社	大和証券株
朝日生命保険(相)	株主婦と生活社	チェースマンハッタン銀行
株旭通信社	株主婦の友社	株父セメント株
アサヒビール株	株小学館	TBS株東京放送
朝日放送株	松竹株	株テレビ東京
味の素株	昭和電工株	株電通
株INAX	新王子製紙株	東海旅客鉄道株
岩尾磁器工業株	株新潮社	株東急エージェンシー
株エイ・アイ・エイ	新日本製鐵株	東急建設株
株エフエム東京	株ジェイブ	株東急百貨店
エルメス ジャパン株	株ジェーワン	東急不動産株
オータ事務所株	ジャスコ株	東京ガス株
(有)大庭音楽事務所	住友海上火災保険株	東京急行電鉄株
オムロン株	株住友銀行	東京電力株
株オリエントコーポレーション	住友生命保険(相)	株東京ドーム
株オンワード樫山	セイコーエプソン株	株十勝毎日新聞社
花王株	株世界文化社	凸版印刷株
鹿島建設株	積水化学工業株	トヨタ自動車株
鐘紡株	セコム株	同和火災海上保険株
カルティエ ジャパン株	セゾングループ	西日本旅客鉄道株
勸角証券株	セントラル警備保障株	株ニチレイ
キヤノン株	全国朝日放送株	日産自動車株
株求龍堂	全日本空輸株	日東興業株
京セラ株	株草土舎	株ニッポン放送
キリンビール株	ソニー株	日本アイ・ビー・エム株
株京王プラザホテル	大正製薬株	日本アムウェイ株
株現代彫刻センター	武田薬品工業株	日本AT&T株
株光文社	竹中工務店	日本火災海上保険株
株さくら銀行	株淡交社	株日本経済新聞社
株佐谷画廊	株第一勧業銀行	日本航空株
株産業経済新聞社	第一企画株	株日本交通公社
サントリー株	第一生命保険(相)	日本酸素株
株三陽商会	株大広	日本食研株
三洋電機株	大東京火災海上保険株	日本信販株
株資生堂	大日本印刷株	日本製紙株

日本生命保険(相)	株フジテレビジョン	メルシャン(株)
日本たばこ産業(株)	株富士プロジェクト	株ヤギコーポレーション
日本テレビ放送網(株)	株婦人画報社(株)	安田火災海上保険(株)
日本電気(株)	株ブリヂストン	安田生命保険(相)
日本電信電話(株)	株ブロードウェイギャラリー	山武ハネウエル(株)
日本電波塔(株)	株文藝春秋	ヤマト運輸(株)
野村證券(株)	株ホワイトピーアール	ヤマハ(株)
(株)博報堂	本州製紙(株)	雪印乳業(株)
(社)林原共済会	本田技研工業(株)	(株)読売エージェンシー
パイオニア(株)	株毎日新聞社	株読売広告社
東日本旅客鉄道(株)	株マガジンハウス	株読売新聞社
(株)日立製作所	松下電器産業(株)	株リクルート
株美研	丸紅(株)	リコー三愛グループ三愛会
びあ(株)	ミサワホーム(株)	ルイ・ヴィトン ジャパン(株)
ファイザー(株)	三井観光開発(株)	株レナウン
フィリップモリス(株)	三井不動産(株)	ローム(株)
株富士銀行	株三越	株ワコール
富士ゼロックス(株)	株三菱銀行	
株フジタ	三菱信託銀行(株)	
富士通(株)	三菱重工業(株)	

(五十音順)

準会員

(財)愛知県文化振興事業団	株劇団飛行船	(財)堂本印象記念近代美術振興財団
APA芸術振興協会	株三和総合研究所	日産労連リック事業部
茨城県	株シアターワークショップ	(社)日本演奏連盟
株岡設計	株シー・ディー・アイ	(財)日本オペレッタ協会
オペレッタ・サロン・トナカイ	有四季コミュニケーションズ	(社)日本芸能実演家団体協議会
神奈川県	株社会工學研究所	(財)日本交通文化協会
(学)河合塾生涯教育開発室	昭和音楽大学	株フジテレビギャラリー
京都商工会議所	中央区文化・国際交流振興協会	(財)水戸市芸術振興財団
(財)京都服飾文化研究財団	地人会	矢島邦茂法律事務所
熊本県	東海メセナ研究会	(財)余暇開発センター
慶應義塾大学文学部DNP基金	(財)東京都文化振興会	リユーズ(株)
芸術文化交流の会	東京バレエ劇場バレエ団	
株劇団影ぼうし	(社)栃木生活文化総研	
劇団四季	株トライビジョン	

(五十音順)

(社)企業メセナ協議会 役員

(1993年11月現在・五十音順)

会長	鈴木 治雄	昭和電工株名誉会長
副会長	佐治 敬三	サントリー株会長
	塚本 幸一	株ワコール会長
	堤 清二	株セゾンコーポレーション会長
	西尾 信一	第一生命保険(株)会長

理事長	福原 義春	株資生堂社長
-----	-------	--------

理事	天谷 直弘	株電通総研社長・研究所長
	石川 六郎	鹿島建設株会長
	稲盛 和夫	京セラ株会長
	大賀 典雄	ソニー株社長
	後藤 康男	安田火災海上保険株会長
	椎名 武雄	日本アイ・ピー・エム株会長
	柴田 俊治	朝日放送株専務取締役
	関澤 義	富士通株社長
	関本 忠弘	日本電気株社長
	瀬戸 雄三	アサヒビール(株)社長
	竹中 統一	株竹中工務店社長
	豊田 章一郎	トヨタ自動車株会長
	中江 利忠	株朝日新聞社社長
	平岩 外四	東京電力株相談役
	松沢 卓二	株富士銀行相談役
	松橋 功	株日本交通公社社長
	三沢 千代治	ミサワホーム株社長
	山口 開生	日本電信電話株会長

監事	宮崎 邦次	株第一勧業銀行会長
----	-------	-----------

専務理事	根本 長兵衛	共立女子大学教授
------	--------	----------

特別顧問	永井 道雄	(財)国際文化会館理事長
------	-------	--------------

「メセナ大賞 '94」の応募要項は
1994年3月末頃発表する予定です。
詳細は企業メセナ協議会事務局まで
お問い合わせください。

大賞部会メンバー

部会長／富岡 隆夫(朝日新聞社 取締役・文化企画担当)
メンバー／稲葉 穂積(富士通株 社会活動推進室長)
久藤 弘之(読売新聞社 広告局参与)
小塩 稲之(株セゾンコーポレーション 文化・メセナ事務局)
千葉 昌信(日本経済新聞社 広告局総務)
中島 和枝(日本アイ・ピー・エム株 社会貢献課長)
広田 興三(株朝日広告社 営業第4局長)
森下 恵代(株ミサワホーム総研 文化事業部マネージャー)
安田 憲二(株博報堂 文化事業部 企画ディレクター)
事務局・専務理事／根本長兵衛
大賞担当／高井光子・野呂健男・久保田大介

1993年12月14日 発行・社団法人企業メセナ協議会 企画制作・博報堂

Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会

〒100 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン13階
Tel. 03-3213-3397 Fax. 03-3215-6222